

令和3年度 伴走型小規模事業者支援推進事業(経営発達推進事業)

福知山市商工会 企業業況調査(新型コロナウイルス関連)

令和3年10月調査結果(令和3年7月～9月分／令和3年11月 10日公表)

◆業種

1.製造	24	31.2%
2.建設	20	26.0%
3.卸小売	2	2.6%
4.サービス	31	40.3%
計	77	100.0%

1. 経営への影響

	全体		製造業		建設業		卸小売業		飲食サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1.影響を受けている	45	58.4%	12	50.0%	7	35.0%	10	83.3%	16	76.2%
2.経済活動の停滞長期化による	23	29.9%	6	25.0%	11	55.0%	2	16.7%	4	19.0%
2.影響を受けていない	9	11.7%	6	25.0%	2	10.0%	0	0.0%	1	4.8%
計	77	100.0%	24	100.0%	20	100.0%	12	100.0%	21	100.0%

全体で58.4%の事業者が影響を受けており、「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」を含めると88.3%が何らかの影響を危惧している状況にある。前回調査時同様「影響を受けていない」に回答が9件11.7%と低くなっており、緊急事態宣言での影響は引き続き大きい。海外からの輸入制限や半導体不足による生産調整の影響も大きくなってきている。

2. 業績

	全体		製造業		建設業		卸小売業		飲食サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1.業績は改善している	8	10.4%	2	8.3%	3	15.0%	0	0.0%	3	14.3%
2.業績は変わらない	33	42.9%	11	45.8%	13	65.0%	4	33.3%	5	23.8%
3.業績は改善していない	36	46.8%	11	45.8%	4	20.0%	8	66.7%	13	61.9%
計	77	100.0%	24	100.0%	20	100.0%	12	100.0%	21	100.0%

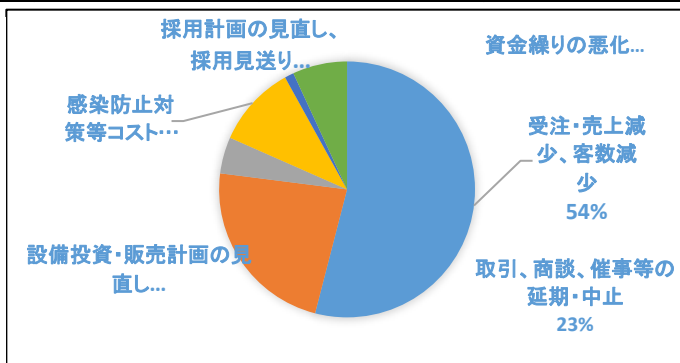
全体で36件46.8%の事業者が業績は改善していないと答えており、依然厳しい状況は続いている。業種別では建設業が「業績は改善している」が前回調査では0件だったが今回は3件と増え、徐々にではあるが回復の兆しは見えてきている。

3. 1で影響を受けている、2で改善していないと回答した方の具体的な影響について

	全体		製造業		建設業		卸小売業		飲食サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
受注・売上減少、客数減少	47	54.0%	11	55.0%	9	56.3%	9	69.2%	18	47.4%
取引、商談、催事等の延期・中止	20	23.0%	5	25.0%	3	18.8%	3	23.1%	9	23.7%
設備投資・販売計画の見直し	4	4.6%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.9%
感染防止対策等コスト増	9	10.3%	0	0.0%	2	12.5%	0	0.0%	7	18.4%
採用計画の見直し、採用見送り	1	1.1%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資金繰りの悪化	6	6.9%	2	10.0%	2	12.5%	1	7.7%	1	2.6%
計	87	100.0%	20	100.0%	16	100.0%	13	100.0%	38	100.0%

全体的には、「受注・売上減少、客数減少」がトップで47件54%、次に「取引、商談、催事等の延期・中止」が20件23%となっている。また、「資金繰りの悪化」が6件6.9%、「感染防止対策等コスト増」が9件10.3%となっている。件数、比率的には前回調査とほぼ変わらない状況が続いている。

業種別には全業種「受注・売上減少、客数減少」が多く、次いで「取引、商談、催事などの延期・中止」がきている。飲食サービス業は前回同様「感染防止対策等コスト増」が7件18.4%と高い。



4. 1月～3月前年同期比の売上比較

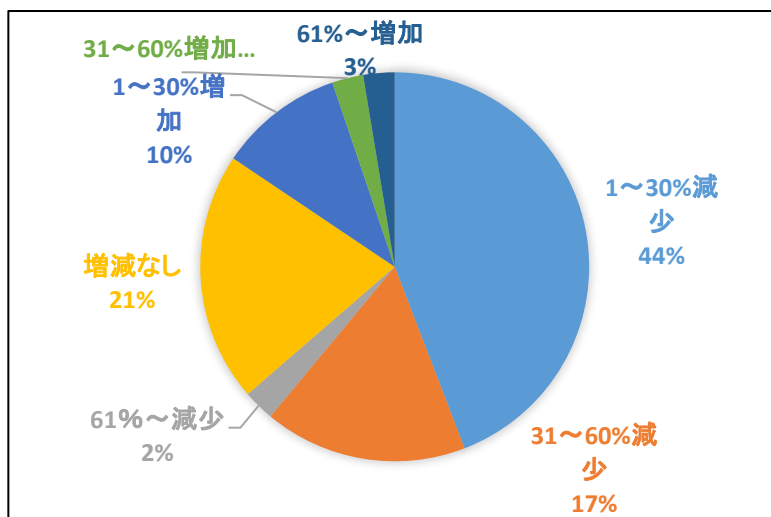
	全体		製造業		建設業		卸小売業		飲食サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1～30%減少	34	44.2%	7	29.2%	8	40.0%	7	58.3%	12	57.1%
31～60%減少	13	16.9%	4	16.7%	3	15.0%	3	25.0%	3	14.3%
61%～減少	2	2.6%	1	4.2%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%
増減なし	16	20.8%	6	25.0%	6	30.0%	1	8.3%	3	14.3%
1～30%増加	8	10.4%	4	16.7%	2	10.0%	0	0.0%	2	9.5%
31～60%増加	2	2.6%	1	4.2%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
61%～増加	2	2.6%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%
計	77	100.0%	24	100.0%	20	100.0%	12	100.0%	21	100.0%

売上前年同月比では1～30%減少が44.2%と前回同様多く、31%～60%、61%以上減少を合わせると63.7%（前回69.2%）が売上が減少している。

業種別に見ると製造業は減少社数12件（前回13件）、建設業は減少社数11件（前回12件）、卸小売業は11件（前回10件）、飲食サービス業は15件（前回19件）となっている。

今回調査では増減なしの項目を追加し全体で16件20.8%、業種別には製造業6件25%、建設業6件30%、卸小売業1件8.3%、飲食サービス業3件14.3%となっている。

一方、増加は全体で12社15.6%、業種別には製造業6件25.1%、建設業3件15%、卸小売業0件、飲食サービス業3件14.3%となっている。



5. 事業再構築・再編の必要性

	全体		製造業		建設業		卸小売業		飲食サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
必要性を感じている	44	57.1%	13	54.2%	12	60.0%	8	66.7%	11	52.4%
必要性を感じていない	33	42.9%	11	45.8%	8	40.0%	4	33.3%	10	47.6%
計	77	100.0%	24	100.0%	20	100.0%	12	100.0%	21	100.0%

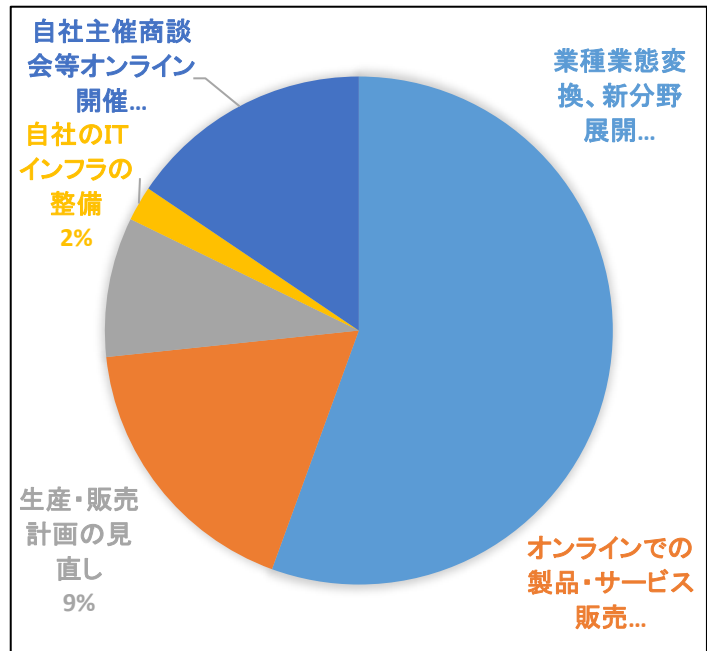
全体的には、44社57.1%が事業再構築・再編の必要性を感じており、業種別では、製造業では13社54.2%、建設業では12社60.0%、卸小売業では8社66.7%、飲食サービス業では11社52.4%となっている。

6. 上記で「必要性を感じている」と回答した方。事業再構築・再編への課題は？

	全体		製造業		建設業		卸小売業		飲食サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
業種業態変換、新分野展開	25	55.6%	10	58.8%	4	30.8%	5	83.3%	6	66.7%
オンラインでの製品・サービス販売	8	17.8%	3	17.6%	2	15.4%	1	16.7%	2	22.2%
生産・販売計画の見直し	4	8.9%	3	17.6%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%
自社のITインフラの整備	1	2.2%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%
自社主催商談会等オンライン開催	7	15.6%	1	5.9%	5	38.5%	0	0.0%	1	11.1%
計	45	100.0%	17	100.0%	13	100.0%	6	100.0%	9	100.0%

全体的には、「業種業態変換、新分野展開」が25件55.6%と多く、「オンラインでの製品・サービス販売」が8件17.8%、「生産・販売計画の見直し」4件8.9%、「自社主催商談会等オンライン開催」が7件15.6%と半数以上が業種業態変換、新分野展開を考えている。

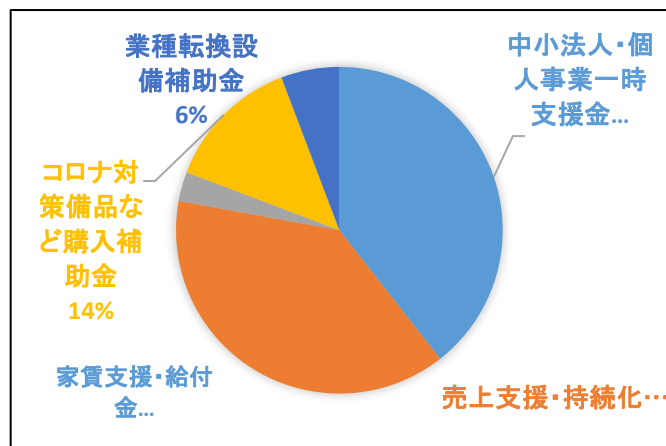
業種別で見ると、製造業では「業種業態変換、新分野展開」が10件58.8%、建設業では「業種業態変換、新分野展開」が4件30.8%、卸小売業では「業種業態変換、新分野展開」5件各83.3%、飲食サービス業では「業種業態変換、新分野展開」6件66.7%と業種別内では一番高い。



7. 新型コロナウイルス関連した国や自治体等期待する支援策は

	全体		製造業		建設業		卸小売業		飲食サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
中小法人・個人事業一時支援金	41	39.4%	16	47.1%	6	26.1%	9	56.3%	10	32.3%
売上支援・持続化給付金	40	38.5%	11	32.4%	12	52.2%	5	31.3%	12	38.7%
家賃支援・給付金	3	2.9%	1	2.9%	0	0.0%	1	6.3%	1	3.2%
コロナ対策備品など購入補助金	14	13.5%	4	11.8%	3	13.0%	1	6.3%	6	19.4%
業種転換設備補助金	6	5.8%	2	5.9%	2	8.7%	0	0.0%	2	6.5%
計	104	100.0%	34	100.0%	23	100.0%	16	100.0%	31	100.0%

全体では、「売上支援・持続化給付金」41件39.4%、「中小法人・個人事業一時支援金」が40件38.5%と前回調査同様上位を占めている。業種別でも上位に変更はない。



【新型コロナウイルスに関連した業況感】

- ・部品の入荷遅れにより制作時間が増大し、利益減少した。また取引先のテレワークにより家訓等の返答の遅れが生じている。
- ・地方の中小零細企業向けの支援策を希望する
- ・一時的なものでは焼け石に水なので期待していない
- ・店側がどれだけ頑張っても対策に協力してくれない方への対応に困ります。テレビ等でも見かけますが、個人個人の意識が大切かと思えます。店は「これだけの対策をしなければいけないんだよ」という内容をお客様にも認識していただけるようにしてほしい。
- ・今までと同様の支援
- ・他国のロックダウンで生産できない 公共事業の依頼減少。
- ・イベント・セミナー等他社様との交流が減少する中、オンラインを活用したいが急な来客等の対応やPC操作に不慣れな為、なかなか活用できていない。イベント・会合・旅行等の中止による外出自粛により人々が出てこない。
- ・人手不足の影響で外注比率の増加。人材の確保、外注への請負体系のシステム化。外国人実習生の受け入れ再開。